



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 株式会社マルイチ産商

上場取引所 名

コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 井崎 俊彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画・管理部門 (氏名) 白井 幸男

TEL 026-285-4101

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	123,673	4.2	1,042	60.9	1,357	39.6	682	38.8
24年3月期第3四半期	118,698	1.4	648	79.5	972	49.1	491	77.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 626百万円 (26.9%) 24年3月期第3四半期 493百万円 (181.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	29.58	—
24年3月期第3四半期	21.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	49,138	17,445	35.0
24年3月期	41,290	16,963	40.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 17,218百万円 24年3月期 16,736百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,000	2.3	750	9.5	1,150	4.6	600	7.5	26.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	23,121,000 株	24年3月期	23,121,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	65,697 株	24年3月期	65,532 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	23,055,321 株	24年3月期3Q	23,055,645 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景に一部で緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州債務危機や新興国経済の減速などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。食品流通業界におきましても、生活者の低価格・節約志向が強まり、企業間での低価格競争が激化するなど、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、2013年度を目標年度とする中期経営計画「Cキューブ-2013」に基づき、当社オリジナル商品の開発と商品調達力の強化によりマーチャндаイジング機能をさらに高めるとともに、ユニークな強みである生鮮を基軸とした地域密着型のフルライン機能を最大限に活かすことで「新たな需要創造、新たな顧客創造」を推進し、売上・利益の拡大を図りました。

一方、物流や受発注など、機能のネットワーク化と一元化を継続して進め、業務効率化による生産性向上とコスト低減を図るなど、強化してきた機能をさらに進化させ、事業構造改革を推進しました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、1,236億73百万円（前年同期比4.2%増加）と前年同期に対して49億75百万円の増収となりました。利益面につきましては、増収による利益増とコスト削減により、営業利益は10億42百万円（同60.9%増加）、経常利益は13億57百万円（同39.6%増加）となりました。特別損失としまして、甲府拠点の移転により固定資産の減損損失の計上を行ったことなどから、四半期純利益は6億82百万円（同38.8%増加）となりました。

#### [セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

#### <水産事業セグメント>

売上高 861億52百万円（前年同期比5.4%増）  
営業利益 5億58百万円（前年同期比128.8%増）

売上高につきましては、水産商品本部の商品開発力と調達力の強化による顧客拡大と、養殖魚インテグレーション（生産から販売までの統合事業）により養殖ブリの売上を伸ばさせたことに加え、フードサービス事業による外食・中食チャネルへの販売拡大により、前年同期に対して44億51百万円の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の拡大に伴う売上総利益額の増加と、業務の効率化によるコスト削減効果により、営業利益は前年同期に対して3億14百万円の増益となりました。

#### <一般食品事業セグメント>

売上高 206億35百万円（前年同期比1.3%増）  
営業利益 1億12百万円（前年同期比5.2%減）

売上高につきましては、基盤商圏における地域小売業へのエリアマーケティングに基づく付加価値提案営業を、小売店支援を事業とする子会社AES(株)と連携し推進したことにより、前年同期に対して2億62百万円の増収となりました。

利益面につきましては、店頭での低価格競争の影響により販売価格が低下し、管理費等のコスト削減に努めたものの、営業利益は前年同期に対して6百万円の減益となりました。

#### <畜産事業セグメント>

売上高 164億97百万円（前年同期比0.8%増）  
営業利益 2億94百万円（前年同期比29.9%増）

売上高につきましては、牛肉、豚肉、加工品の売上が堅調に推移したことに加え、「りんご和牛信州牛」や「信州米豚」などの当社オリジナル商品の販売拡大により、前年同期に対して1億33百万円の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の拡大に伴う売上総利益額の増加と、業務の効率化によるコスト低減が図られたことから、営業利益は前年同期に対して67百万円の増益となりました。

<その他（小売店の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

売上高 3億88百万円（前年同期比48.9%増）

営業利益 77百万円（前年同期比32.2%増）

子会社でありますA E S(株)による小売店の店舗支援事業と、同マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)による物流・冷蔵倉庫事業について、グループ内の各事業との組織的な連携強化を進めたことにより、売上高は、前年同期に対して1億27百万円の増収、営業利益は前年同期に対して18百万円の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は491億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して78億47百万円の増加となりました。主な要因として、流動資産は「現金及び預金」が5億42百万円減少し、「受取手形及び売掛金」が72億83百万円、「商品及び製品」が12億68百万円増加したことにより、82億8百万円増加し、337億39百万円となりました。また、固定資産は「建物及び構築物」が2億39百万円減少したことにより3億61百万円減少し、153億98百万円となりました。

負債は316億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して73億66百万円の増加となりました。主な要因として、流動負債は「支払手形及び買掛金」が75億42百万円増加し、「未払法人税等」が1億72百万円減少したことにより、74億68百万円増加し、299億36百万円となりました。また、固定負債は「長期借入金」が2億円減少したことにより、1億1百万円減少し、17億57百万円となりました。

純資産は174億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億81百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の40.5%から35.0%に減少しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,025	6,482
受取手形及び売掛金	14,193	21,477
商品及び製品	2,245	3,513
仕掛品	5	3
原材料及び貯蔵品	54	74
その他	2,106	2,369
貸倒引当金	△100	△180
流動資産合計	25,530	33,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,940	3,701
土地	7,709	7,639
その他（純額）	593	746
有形固定資産合計	12,243	12,087
無形固定資産		
のれん	412	345
その他	245	185
無形固定資産合計	657	530
投資その他の資産		
投資有価証券	1,968	1,891
その他	972	1,001
貸倒引当金	△81	△112
投資その他の資産合計	2,858	2,780
固定資産合計	15,759	15,398
資産合計	41,290	49,138
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,860	25,403
短期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	429	257
賞与引当金	417	254
その他	2,259	2,520
流動負債合計	22,467	29,936
固定負債		
長期借入金	200	—
退職給付引当金	671	641
役員退職慰労引当金	223	220
債務保証損失引当金	93	93

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産除去債務	81	79
その他	589	722
固定負債合計	1,858	1,757
負債合計	24,326	31,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	9,659	10,202
自己株式	△53	△53
株主資本合計	16,706	17,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	△30
その他の包括利益累計額合計	30	△30
少数株主持分	227	226
純資産合計	16,963	17,445
負債純資産合計	41,290	49,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	118,698	123,673
売上原価	106,760	111,495
売上総利益	11,937	12,178
販売費及び一般管理費	11,289	11,135
営業利益	648	1,042
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	73	69
受取賃貸料	128	130
その他	141	127
営業外収益合計	344	329
営業外費用		
支払利息	15	7
固定資産除却損	1	3
貸倒引当金繰入額	—	1
その他	2	1
営業外費用合計	19	14
経常利益	972	1,357
特別損失		
投資有価証券売却損	47	—
減損損失	—	113
その他	2	—
特別損失合計	49	113
税金等調整前四半期純利益	923	1,244
法人税、住民税及び事業税	370	500
法人税等調整額	61	56
法人税等合計	432	557
少数株主損益調整前四半期純利益	491	687
少数株主利益	—	5
四半期純利益	491	682



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	491	687
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1	△61
その他の包括利益合計	1	△61
四半期包括利益	493	626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	493	620
少数株主に係る四半期包括利益	—	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	81,700	20,372	16,364	118,437	260	118,698	-	118,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	2,179	2,181	△ 2,181	-
計	81,700	20,374	16,364	118,439	2,440	120,879	△ 2,181	118,698
セグメント利益	243	118	226	589	58	648	-	648

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。  
2. セグメント間取引消去によるものであります。  
3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	86,152	20,635	16,497	123,285	388	123,673	-	123,673
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	2,247	2,249	△ 2,249	-
計	86,152	20,636	16,497	123,286	2,636	125,923	△ 2,249	123,673
セグメント利益	558	112	294	965	77	1,042	-	1,042

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。  
2. セグメント間取引消去によるものであります。  
3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「水産事業」セグメントにおいて、移転を決定した拠点の事業資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額及び撤去費用の見積額を減損損失（113百万円）として特別損失に計上しております。